

場所によって適切な明るさの基準があります。

警察庁「安全・安心まちづくり推進要綱」			
各部位別ごとに応じて、こまかく照度基準が定められています。			
道 路			3 lx以上
公園・ 公衆トイレ	● 公園内		3 lx以上
	● 公衆トイレ周辺		50 lx以上
駐 車・ 駐 輪 場	駐車場 (500m以上)	● 車路	10 lx以上
		● 駐車エリア	2 lx以上
	● 駐車・駐輪場		3 lx以上
共同住宅	● 共用玄関の内側 ● 共用メールコーナー ● 共用玄関の存する階のエレベータホール ● エレベータ内(かご内)		50 lx以上
	● 共用玄関の外側 ● 共用玄関以外の共用出入口 ● 共用玄関の存する階以外のエレベータホール ● 共用廊下・共用階段		20 lx以上
	● 自転車置場・オートバイ置場 ● 駐車場 ● 歩道・車道などの通路 ● 児童公園 ● 広場または緑地など		3 lx以上
※出典:警察庁「安全・安心まちづくり推進要綱」より抜粋 ※東京都「安全・安心まちづくり条例」大阪府「安全なまちづくり条例」などでも 同様の明るさ基準を設定。			
数値は平均水平面照度を表します。			
50 lx…10m先の人の顔・行動が明確に識別でき、誰でもか明確にわかる程度以上の照度			
20 lx…10m先の人の顔・行動が識別でき、誰でもかわかる程度以上の照度			
3 lx…4m先の人の挙動・姿勢等が識別できる程度以上の照度			

公園・公衆トイレ

物陰や死角をつくらない、敷地全体を見通せる明るさが求められます。





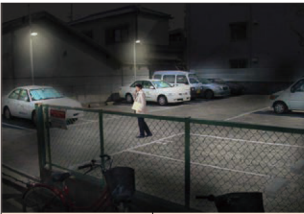
公衆トイレ	公園内
50 lx 確保	3 lx 確保

おすすめ防犯照明器具
▶ モールライト
▶ ブラケット

駐車場

車路はもちろんのこと、駐車場のすみずみまで見渡せる明るさが理想です。





車路平均照度	車庫平均照度
10 lx 確保	2 lx 確保

おすすめ防犯照明器具
▶ 防犯灯[駐車場・交差点用]

「AreaLux(エリアルクス)」はその基準を満足させる明るさで、あかり環境づくりのお手伝いをいたします。

道路・街路

人や物の存在がすぐに認識できて、つねに危険を回避できる明るさが必要です。

(公社)日本防犯設備協会により「防犯灯の照度基準」(SES E1901-4)が決められています。

公益社団法人日本防犯設備協会による「照度基準」では、危険を回避できる距離として、4m先の歩行者の見え方が基準となります。安全・安心で防犯に役立つ明るさは、生活道路としての重要性や歩行者交通量の多い少ないでクラスAとクラスBに区分されます。少なくともクラスBの明るさが確保できる防犯灯の設置が望まれます。防犯効果を高める為にはクラスAをお奨めします。

LEDなど指向性の強い防犯灯の照度基準

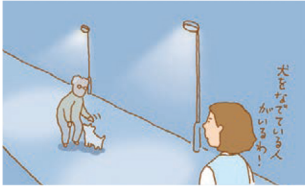
● クラスB+ (プラス)について
クラスBを確保しつつ道路端の視認性や道路側面・空間の明るさを向上させたい場合に採用。



クラスB+の明るさを確保した道路
4m先の人の顔の向きや
挙動姿勢などがわかる

平均水平面照度	中心線鉛直面照度 道路両端鉛直面照度
3 lx (平均値)	0.5 lx (最小値)

防犯灯の照度基準 (従来光源も含む)

クラスB の明るさを確保した道路 4m先の人の顔の向きや 挙動姿勢などがわかる  <table><tr><td>平均水平面照度</td><td>中心線鉛直面照度</td></tr><tr><td>3 lx (平均値)</td><td>0.5 lx (最小値)</td></tr></table>	平均水平面照度	中心線鉛直面照度	3 lx (平均値)	0.5 lx (最小値)	クラスA の明るさを確保した道路 4m先の人の顔の概要(目・鼻・口)がわかる  <table><tr><td>平均水平面照度</td><td>中心線鉛直面照度</td></tr><tr><td>5 lx (平均値)</td><td>1 lx (最小値)</td></tr></table>	平均水平面照度	中心線鉛直面照度	5 lx (平均値)	1 lx (最小値)
平均水平面照度	中心線鉛直面照度								
3 lx (平均値)	0.5 lx (最小値)								
平均水平面照度	中心線鉛直面照度								
5 lx (平均値)	1 lx (最小値)								

注) A、Bどちらのクラスの照明レベルを採用するかは、その道路の交通上や防犯上の重要性、歩行者・交通量の多少、あるいは周辺環境の明るさ、照明にかけられるコストなどの個々の状況によって、照明の設置者が適宜選択する。
注) 水平面照度は歩道の路面上の平均照度。
注) 鉛直面照度は歩道の中心線上で、路面より1.5mの高さ、道路軸に対して直角な鉛直面の最小照度。
注) 道路両端鉛直面照度は道路両端から0.5m内側において道路路面から1.5mの高さ、道路軸に対して直角な鉛直面の最小照度。
出典: (公社)日本防犯設備協会
「防犯照明ガイド vol.6」の解説より

おすすめ防犯照明器具

▶ 防犯灯

出入口 (建物全般)

人の顔・行動を識別できる明るさを。



平均照度 20 lx 確保

建物の出入口には、不審者がひそむ暗がりなくし、人の顔・行動を識別できる20 lx以上の明るさが求められます。

おすすめ防犯照明器具

▶ ブラケット

駐輪場 (屋根付)

すみずみまで見渡せる明るさが理想です。



平均照度 3 lx 確保

建物付近の自転車置場には、全体の視認性を高め、すみずみまで見渡せる明るさが求められます。

おすすめ防犯照明器具

▶ 一体型ベースライト iDシリーズ
防湿型・防雨型照明器具